

## 第2回戦没者遺骨鑑定センター運営会議 (概要)

- 日時：令和2年12月8日（火）14時00分～15時00分
- 形式：Web会議
- 出席者：浅村センター長、篠田構成員、玉木構成員、橋本構成員  
岩井審議官、皆川事業課長、佐藤事業推進室長、橋本鑑定調整室長、  
横田課長補佐
- 議題：戦没者遺骨鑑定センターにおけるDNA鑑定の進め方について

### 【概要】

#### 1. 所属集団判定会議について

- ・多くの検体について判定をするために、今後、会議の時間や開催頻度などを精査していただきたい。

#### 2. 所属集団の判定方法について

- ・Y-STRのハプログループ（※）の推定については、YHADでMINIMUMの8ローカスが出ていれば絞ることも可能である。  
（※）遺伝子同士の組み合わせのことを「ハプロタイプ」といい、よく似た「ハプロタイプ」の集団のことを「ハプログループ」という。
- ・STRのデータが全て出ていない試料の判断は難しいが、比較的特異的なデータであれば絞れる場合もあるため、状況に応じて判定していくことになる。
- ・STR型を基本とした分析結果による検体ごとの判断の目安は、全ての遺骨が男性であるという前提で作成されており、女性と思われる結果が出てくる場合を想定していないように見える。実際の鑑定では男性か女性かの判定は高い確率で出来るが、女性が含まれている可能性に留意する必要がある。
- ・現地で遺骨を収容する際は、骨の形質から男性か女性かの判断をしっかりと行うことが必要である。
- ・北方地域において、日本人と日本人以外の遺骨が混在する埋葬地における判定は慎重に行う必要がある。

#### 3. その他

- ・DNA鑑定だけではなく、遺骨収容時の周辺状況や形質鑑定、埋葬資料等を総合的に勘案して判断していくプロセスが再確認された。